

令和 6 年 5 月 31 日

長浜市議会議長 中川 勇 様

提出者 長浜市議会議員 加納 義之
伊藤 喜久雄
高山 亨
鋒山 紀子
杉本 英一
北川 陽大

議案の提出について

令和 6 年長浜市議会 6 月定例会において、長浜市議会会議規則第 14 条の規定により、次の議案を提出します。

記

決議案第 3 号

パレスチナ自治区ガザにおける即時停戦と人道状況の改善に向けた
外交努力を求める決議

(提案理由)

パレスチナ自治区ガザにおける人道上放置できない事態が進行しており、無差別ともいえる攻撃を続けるイスラエルと人質を解放せず抗戦を続けるハマス組織に対し、世界中が即時停戦と人道状況の改善に向けた動きを強めている。長浜市議会も長浜市民を代表して、決議文にこめた意見を表明するものである。

決議案第 3 号

パレスチナ自治区ガザにおける即時停戦と 人道状況の改善に向けた外交努力を求める決議

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの軍事衝突により、パレスチナ自治区ガザにおいて多くの民間人の尊い命が奪われ、医療・教育・ライフライン・食料確保など生活すべてに関わる著しい人道危機が続いている。この間のガザでの犠牲者は3万人を超え、うち4割は子どもであり、多くの母親も含まれ親のない子どもたちも増えている。

ガザ地区北部から始まったイスラエル軍の地上作戦は、ガザ地区全域で展開され、本年2月には最南部のラファに達し、行き場を失った100万人以上の避難民が押し寄せ、ラファでの地上作戦によってさらなる犠牲者が増え続けている。この人道上許されない事態に、関係する国際機関も動き始めているが、攻撃はなお続行中である。

よって、長浜市議会は、イスラエルとハマスの双方をはじめとする全ての当事者及び国際社会に対し、一刻も早い事態の解決に向けて、次の事項を実現するよう強く求めるものである。

1. 人道目的の即時停戦及び人質の即時・無条件の解放
2. 国際人道法を含む国際法の遵守
3. 民間人の被害の最小化と安全確保、人道支援物資の供給を通じた人道危機の改善
4. 日本国政府及び国際社会に対し、上記3点の実現に向け、可能なあらゆる外交努力とガザ地区住民への支援を講じることを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和6年6月3日

長浜市議会